

ません。ご協力いただきましたすべての方々に厚く御礼申し上げます。

私は、2回目の開催（平成23年10月23日）から携わってきました。毎回、参加者たちは、

「通訳になりたい」、「野球選手になりたい」、「働いてお母さんを助けたい」などと素敵な夢を語ってくれました。参加した全ての子どもたちの夢が実現しますよう心より願っております。

本学における「多言語による高校進学ガイダンス」体験談発表より

神奈川大学経営学部4年

ルーティハミリン
LUU THI HA MY LINH

1. 日本に来て

私は日本に来たとき、言葉から生活習慣まで色々な面で苦勞をしました。しかし、時間が経ち慣れてくるとどんなに辛いことでもほとんど忘れてしまいます。今思い出すと、日本に来て一番つらかったのは友達がいなかったことだと思います。しかし今は日本に来てよかったと思います。なぜなら、日本に来ることで夢を持つようになったからです。

2. 日本語の習得

私は日本に来た当初、日本語が全くわかりませんでした。日本に来たらすぐに品川国際救援センターに入所し、6か月程日本語を勉強しました。日本語を習得した後は、高校に進学することを勧められましたが、日本語があまり分らなかったため自信がなく、進学することを諦めました。

そして品川国際救援センターを出た後は、引き続き日本語を勉強するために、近所のボランティア日本語教室に通いました。漢字は毎日のように家で覚えるまで何度も書いたり、テレビで分からない単語があれば辞書を引いたりして単語をたくさん覚ええました。

3. 高校受験

先ほども述べたように、私は日本語があまり分らなかったため高校へ進学することを諦めていました。しかし、来日してから6年目になった時にやっと進学しようと思いました。何故かという、仕事をしていくうちに日本に住むに

は日本語や日本の文化を理解しなければならないということに気付いたからです。日本で生活する上で必要な知識や言語を身に付けるために学校に通うしかないと思いました。

しかし、高校へ進学したいと言っても日本の教育制度や受験方法などを知らなかったため、どうしたらいいか分かりませんでした。そのため、情報を収集するためにボランティア日本語教室の人に聞いたり、「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス」に参加したりしました。



私の場合は、進学しても仕事をしないといけないので定時制を選びました。試験は作文と面接だけでしたが、私は日本語が得意ではなかったため、作文を書くのに精一杯でした。また、少しでも授業についていけるように仕事の休憩時間使って友達と数学の勉強をしていました。

4. 高校生活

私は高校に入学した後、一番心配だったのは授業についていけるかどうかということでした。しかし、高校の先生方はとても親切で優しく接

してくれました。分からないことがあったら丁寧に説明してくれたり、困った時にはいつも相談にのってくれました。おかげで、私は4年間充実した高校生活を送ることが出来ました。

私は高校へ通いながら、アルバイトもしなければならぬ状況にありました。そのため、学校と仕事を両立することが難しかったです。

5. 大学受験

私は最初は大学へ進学しようと思っていませんでした。大学進学をしようと思いだめたのは、高校3年の後期でした。きっかけは、高校4年間でたくさんの知識や思考力を身に付け、高校卒業後に再び就職してしまうのがもったいない気がしたからです。また、高校で学んでいくうちに、社会の組織やお金の流れに興味を持ち、大学で引き続き学びたいと思ったのもきっかけです。

受験方法が分からなかった私は、アドバイザーの方といくつかの大学へ見学に行き、受験方法を教えてもらいました。受験方法は外国高等学校在学経験者入試というもので、面接と小論文でした。小論文は過去問を解き、面接の練習は学校の先生方に協力してもらいました。

6. 様々な壁

日本へきて、言葉の壁、文化の壁、人間関係の壁、私は様々な壁にぶつかってきました。言

葉が分からなければ自分の意見も伝えられず、相手の意見も理解することが出来ません。とにかく会話をしないことには何も始まらないので、最初は学んだ単語を繋ぎ合わせただけの日本語でした。けれど会話をしていく中で正しい日本語を覚え、使えるようになり、文字として文章にすることもできるようになりました。それからは人と話すことが苦であった私は自信を持つことができ、多くの人と楽しくコミュニケーションをとれるようになりました。どんな壁にぶつかっても、こうして努力していくことで、どんな壁も乗り越えられると思います。

7. 自分の将来への希望

これまで私は様々な壁にぶつかり、様々な体験をしてきました。その経験を活かし、自分と同じルーツを持つ人や、同じ境遇におかれた人の役に立ちたいという思いから、現在、通訳をしたり、学校や職場、生活する上で困っている人の相談を受けたりしています。

大学卒業後は、語学力と大学で学んだ組織マネジメントの専門知識を生かして、日本とベトナムの両国に関わる仕事に就きたいと考えています。日本とベトナムがより親密な関係を築くため、ビジネスの世界で活躍していきたいと思っています。



アンケートより参加者からの感想（抜粋）

【保護者より】

- ・子どもたちの将来を心配している私たち外国人の保護者に、このようなイベントを開催してくれてありがとうございます。
- ・高校へ進学するために、大切な多くの情報を得ることができました。自分の言語で教えていただいたため、より理解することができました。
- ・高校へ進学したら、子どもがどのような場所で何を学べるのかがわかった。何が必要で、そしてどれだけ費用がかかるかもわかった。
- ・すべての持っていた疑問を解決したので満足です。通訳者の気配りが気に入りました。

【児童生徒】

- ・この高校進学ガイダンスで入学試験について分かったり、入学試験までのスケジュールがわかって、自分のためになったと思います。
- ・このガイダンスに来る前、いろいろな疑問を持っていました。今日、話を聞いて、解決することができました。
- ・高校にどんなコースがあるか知ることができ、どのような進学コースに進むことができました。
- ・以前、親に聞かれてもわからなかったことを理解できました。